

「鉄道模型の甲子園」で日本一

小平の白梅学園清修中高一貫部

「鉄道模型の甲子園」と呼ばれる全国高校生のジオラマ作りの大会で、白梅学園清修中高一貫部（小平市）の鉄道模型デザイン班が制作した作品が「日本一」にあたる文部科学大臣賞に初めて輝いた。部長の高校二年田仲優奈さん（右）は「言葉で表せないくらいうれしい。模型作りばかりの夏休みは、全部が青春だった」と笑顔をはじけさせた。

（林朋美）

田舎の夏祭りイメージ

新宿区で二十、二十一日に開かれた「第十三回全国高校鉄道模型コンテスト」で、百二十校が参加したモジュール部門に「ある夏の日。」と題した作品を出展した。水田の広がる田舎の

夏祭りの光景をイメージ。コロナ禍で遠出やイベントが思うようにできない中、お祭りに行った気分を味わえる作品を目指したという。

五月から二年生八人で制

作り、細部まで丁寧に作り込んだ。

水田の稲は、極細の歯ブラシの毛を緑に塗って十二本一束にまとめて三千〜四千束作り、一束ずつピンセットで植えていっ

た。稲の間には、粘土で作った米粒大のカモも泳ぐ。木も自然に生えているように見えるように何度も作り直した。田仲さんは「妥協せず、やりたいことは全部やり切った」と振り返った。

受賞発表の瞬間は部員全員が「キャーッ」と叫び、膝から崩れ落ちた。副部長の野崎まのあさん（右）は「会場で叫び声が響いていたと思う。発表直前に手をつないだら、みんな緊張で手がキンキンに冷えてました」と笑った。作品は文部科学大臣賞だけでなく、「投票者が選ぶベストワン賞」にも輝いた。

鉄道模型デザイン班の高校一年生は、一畳レイアウト部門に出展。アニメ映画「紅の豚」の世界を表現した作品で、こちらも出場七校の中で最優秀賞と投票者が選ぶベストワン賞に輝いた。同部門での最優秀賞は三回目。

出展作品の写真や制作動画などは「鉄コンアブリ」で見られる。詳細は「鉄道模型コンテスト2021」で検索。



モジュール部門で文部科学大臣賞になった鉄道模型作品と、制作した田仲さん（前列左）野崎さん（同右）ら二年生部員たち（小平市）